

# 個人投資家の皆様へ 会社説明会

第一実業株式会社（証券コード：8059）

2026年4月25日【東京】

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。



# 目次

- 01 会社概要
- 02 事業概要
- 03 成長戦略
- 04 サステナビリティ
- 05 株価・株主還元



# 独立系 総合機械商社

Point

01

特定の資本グループに属さない

Point

02

自由な立ち位置で商売ができる

Point

03

販売先・仕入先の縛りが無い

Point

04

幅広い設備やサービスの取り扱い

Point

05

お客様に最大の選択肢と、最適な生産システムを提供

# 次世代型エンジニアリング商社

## 現場力

モノづくり現場に  
精通した営業が  
最適設備を提案



## 技術力

多様な知見と経験で  
複合的なエンジニア  
リング機能を提供



## 国際物流機能

物流専門部署による  
国際物流の効率化と  
高度なリスク管理



## グローバルネットワーク

18カ国36拠点の  
海外ネットワークで  
お客様をサポート



常に「時代の一步先を行くモノづくりパートナー」を目指し進化します

# 01 会社概要

---

# 数字でみる第一実業

## 創業

77年

創立 1948年

## 従業員数（連結）

約 1,700 名

## 技術者数（連結）

約 500 名

## 取引企業数

得意先 約 3,900社

仕入先 約 4,700社

## 売上高（連結）

221,755百万円

\*2025年3月期

## 長期発行体格付け

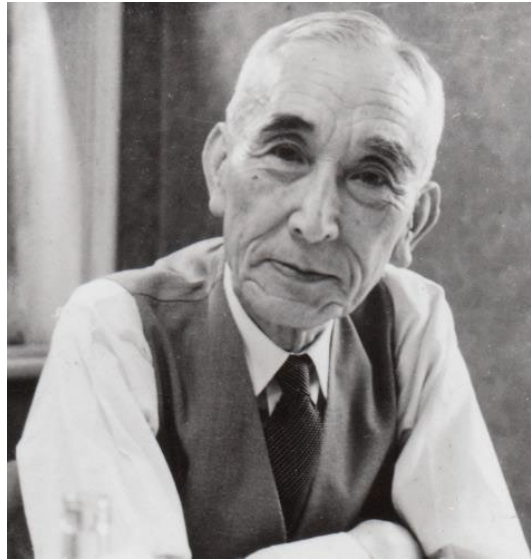
A<sup>-</sup>（安定的）

株式会社日本格付研究所 (JCR)

\*2025年9月2日



# 第一実業



初代社長 倉持正次郎

## 創業の精神

第一実業株式会社は、商事会社として経済社会の流通機構の一翼を担い、以て社会の繁栄に寄与することを目的として協力一致して積極的に活動し、堅実に運営して企業を安定成長せしめ、此処に働く人々の生活の向上幸福の増進を図る。

## 創業時の事業方針

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大手企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

積極活動  
堅実運営  
協力一致

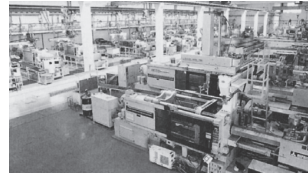
# 第一実業のあゆみ 進化する産業機械サプライヤー

1952年



石油・石油精製  
製紙業界を開拓

1959年



プラスチック業界

1964年



自動車業界

1979年



医薬業界

1982年



エレクトロニクス業界

1989年



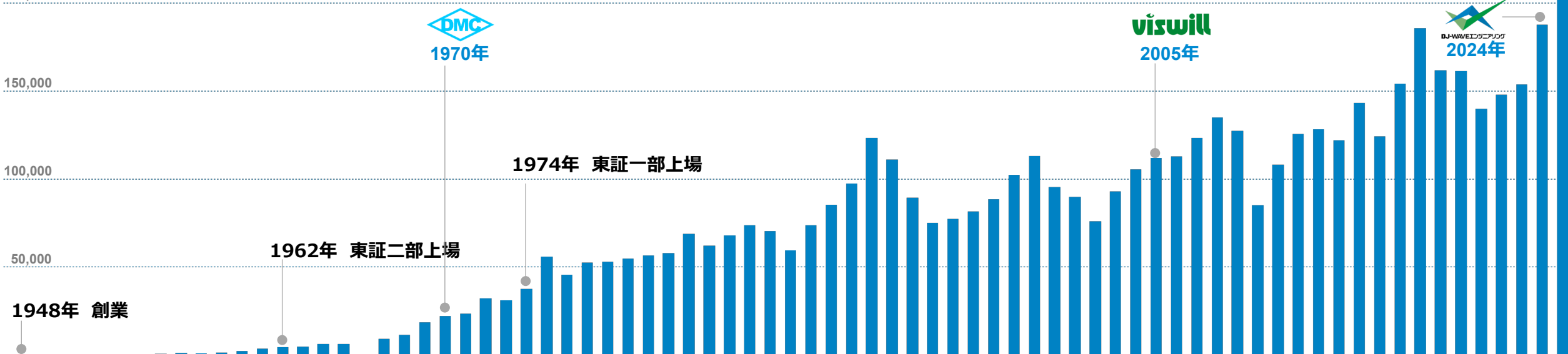
航空業界

2006年



二次電池分野

売上高  
(百万円)  
200,000



中国エリア

1962 台湾・台北駐在員事務所

1997 上海一実貿易有限公司

米州エリア

1972 DAIICHI JITSUGYO(AMERICA)INC.(DJA)

アジアエリア

1971 シンガポール駐在員事務所

2005 DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD.(DJKA)

インドエリア

2018 DAIICHI JITSUGYO INDIA PVT.LTD.

2025年

欧州エリア

1983 ロンドン駐在員事務所 (2009年閉鎖)

2008 DJK EUROPE GMBH(DJKE)

**NITOKU**  
Design the Next



**DAIICHI JITSUGYO**

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2026

# 海外ネットワーク

海外18カ国36拠点で事業を展開しています。

## 欧州エリア 4 拠点

・フランクフルト・プラハ・ブダペスト・ソフィア



## 中国エリア 8 拠点



・上海・天津・蘇州・武漢  
・広州・深圳・香港・台北



## 米州エリア 10 拠点

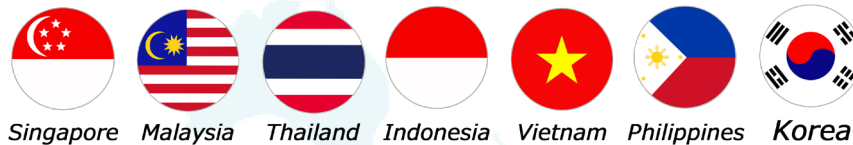
・シカゴ・ヒューストン・オースティン・ノックスビル・ケンタッキー  
・ケタロ・モンテレイ・レオン・サンパウロ・トロント



## アジアエリア 11 拠点

・シンガポール・クアラルンプール・ジョホールバル・ペナン・バンコク  
・ジャカルタ・ハノイ・ホーチミン・マニラ・ラグナ・ソウル

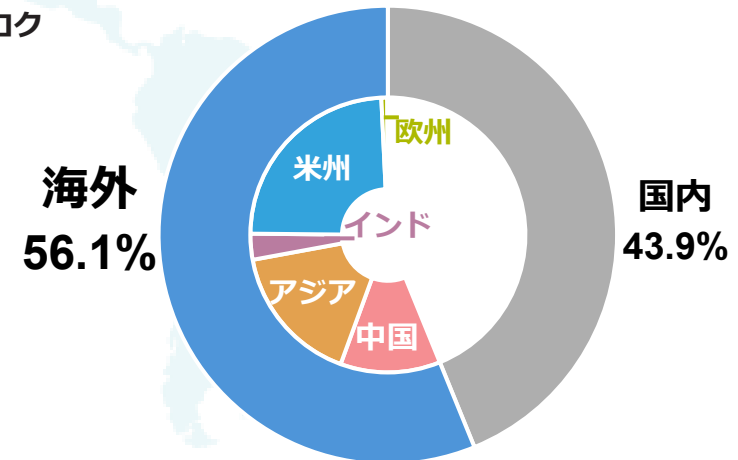
テクニカルセンター ★バンコク ★ハノイ ★ラグナ ★ソウル



## インドエリア 3 拠点

・ニューデリー・バンガロール・アーメダバード  
テクニカルセンター ★ニューデリー

海外売上高比率  
(仕向け先ベース)  
2026年3月期第3四半期



## Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

## Vision

あるべき姿

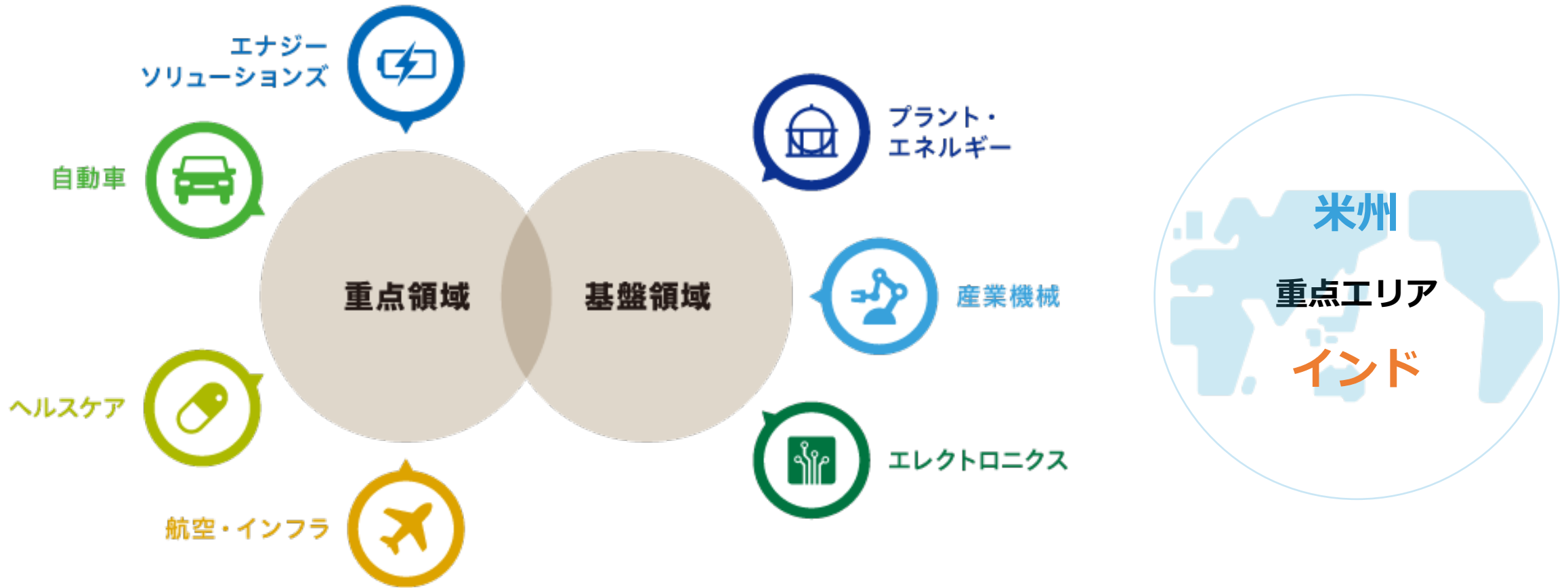
# 次世代型エンジニアリング商社

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、当社独自のエンジニアリング機能を核として継続的な価値を提供する

# 02 事業概要

---

# 事業ポートフォリオ



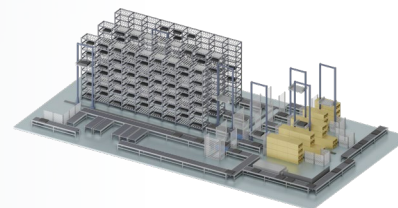
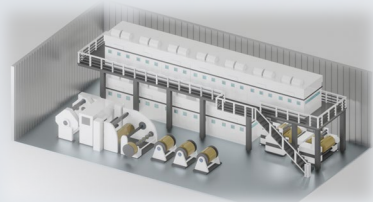
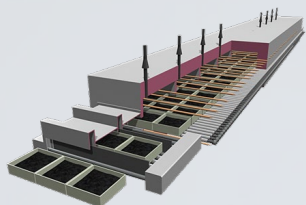
7つのセグメントを「売上高成長率」と、収益性・安定性・成長性を踏まえた、当社独自の指標である「事業評価平均値」で可視化しています。



## 次世代エネルギー分野を通じてサステナブルな社会を実現

(2026年3月期第3四半期)

単位：百万円



### 材料関連装置

電池材料となる正極材や負極材の混合、合成、加工

- ・ 粉体混合機
- ・ 焼成炉
- ・ 粉砕機
- ・ 充填機

### 電極製造装置

シート状の電極（正極・負極）を製造

- ・ 混練機
- ・ 塗工装置（コーター）
- ・ ロールプレス機
- ・ スリッター

### セル製造装置

正極、負極をセパレータと合わせ電池セルのパッケージング

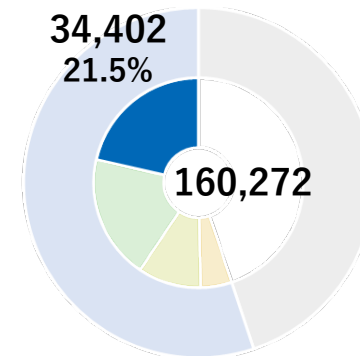
- ・ 巻回機
- ・ 積層機
- ・ 電池組立装置
- ・ 電解液注入機
- ・ X線検査装置
- ・ リーク/気密検査装置

### 検査装置

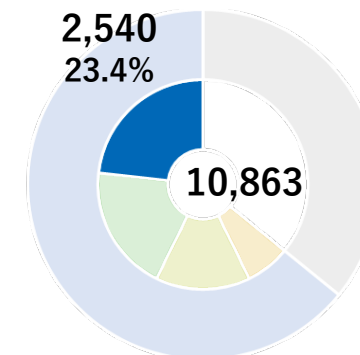
完成した電池に充放電テストを実施、最終検査

- ・ 充放電検査装置
- ・ OCV/DCIR/ACIR
- ・ 検査工程搬送  
(タクトシュミレーション)
- ・ 出荷梱包/パレ・デパレ
- ・ 各種検査装置
- ・ モジュール/パック装置

### 売上高



### 営業利益



## リチウムイオン・バッテリー生産における各工程の機器を提供

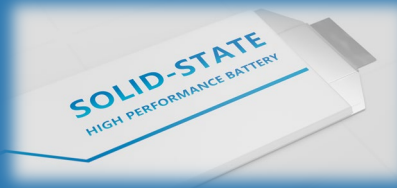
製造工程の上流から下流までのトータルソリューションを提供しています



# 次世代エネルギー分野への取り組み

脱炭素や安全性向上に資するサステナブルな商材の開発を促進

## 新規事業



### 次世代電池

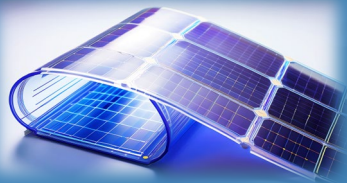
半固体・全固体電池向けに戦略的パートナーとの連携強化。共同研究開発

### ペロブスカイト太陽電池

製造工程に応用できるインクジェット装置拡販

### リサイクル

サーキュラーエコノミーの一環で電池リサイクル事業の創出



# 重点領域② 自動車



人と技術を繋ぎ「革新的なモノ作り」の提案を通じて「車社会の進化」へ貢献する！



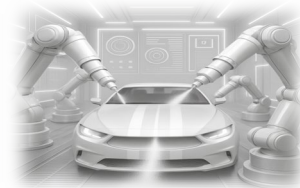
## 車体・内外装 領域



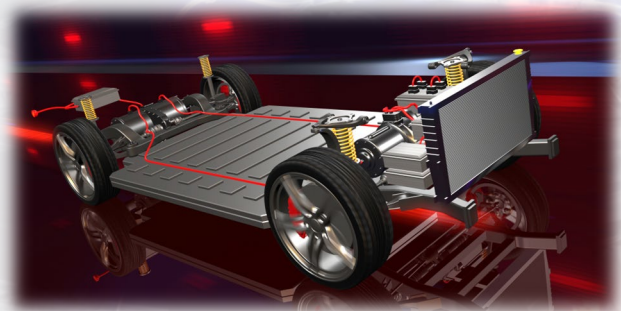
車体内装



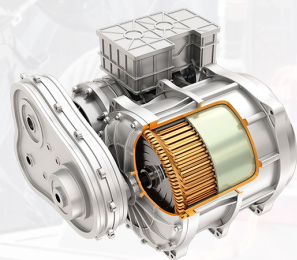
車体外装



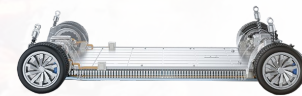
車体塗装



## パワートレイン 領域



e-Axle



ギガキャスト製品



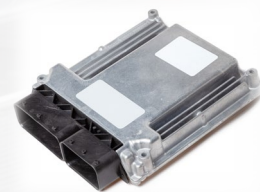
インバーター



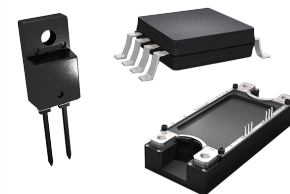
## 自動運転・安全 領域



カメラ



ECU

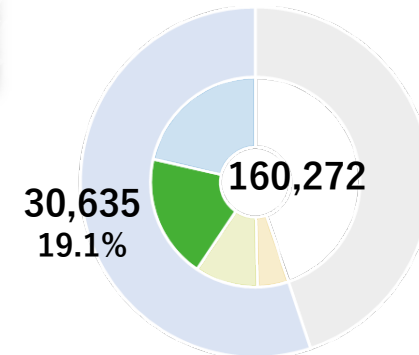


パワー半導体

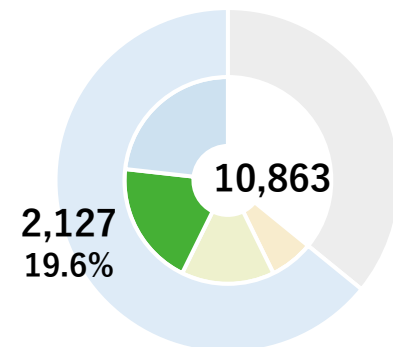
(2026年3月期第3四半期)

単位：百万円

### 売上高



### 営業利益



# 自動車製造に欠かせない新技術への取り組み



## 新技術・工程によるCO<sub>2</sub>削減

POINT

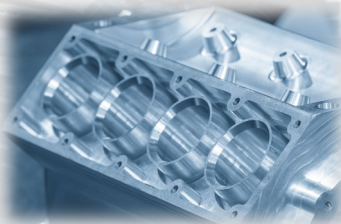
CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減可能な  
水素燃焼型アルミ溶解炉

POINT

射出成形機の電動化

POINT

ドライスクラバー装置を使用した  
水を使わない塗装技術の導入



## 自動車外観検査の自動化・DX

POINT

製造ラインでの効率化と品質安定化

POINT

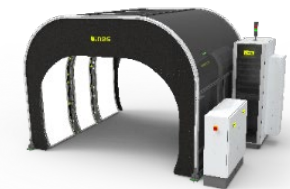
労働力不足の解決とDXの推進

POINT

自動車産業へ最適ソリューションの提供



トンネル型インライン  
塗装欠陥検査システム



トンネル型インライン  
隙間段差検査システム



世界中の企業における生産性と品質を飛躍的に高めることにより、人々の健康に貢献すること

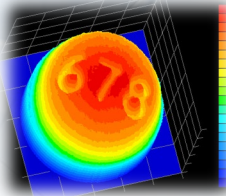
(2026年3月期第3四半期)  
単位：百万円

錠剤外観検査システム  
錠剤印刷検査システム



viswill

第一実業ビスウィル社製  
錠剤外観検査システム



事業領域の拡大



固形剤・液剤



サプリメント



再生医療

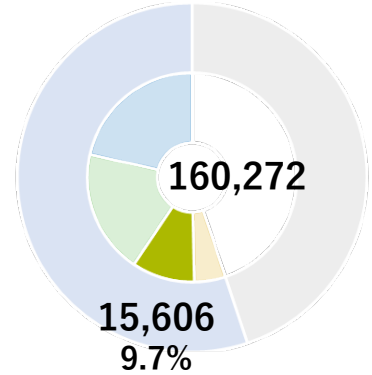


化粧品

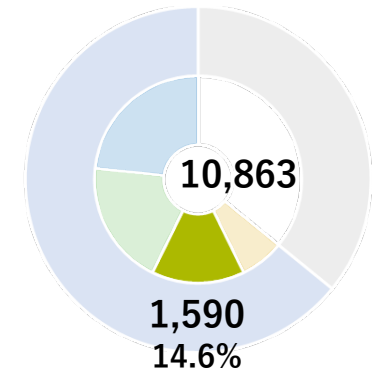
各種医薬品包装機



売上高



営業利益



# 事業領域の拡大

## ターンキーエンジニアリング

### POINT

#### 当社エンジニアが理想の 製造ラインの構想設計を実施

- ・ 要求仕様書の策定
- ・ メーカー選定時の比較資料作成
- ・ バリデーション工程の管理
- ・ 納期調整・現地工事の監督業務

### POINT

#### 導入から廃棄まで寄り添う アフターサービス・ポリシー

##### 計画・実施・サポート

- ・ バリデーション業務
- ・ コミッショニング（性能検証）
- ・ クオリフィケーション（品質保証）



## 細胞培養・再生医療

### POINT

#### 既存事業で培った「品質管理のノウハウ」

### POINT

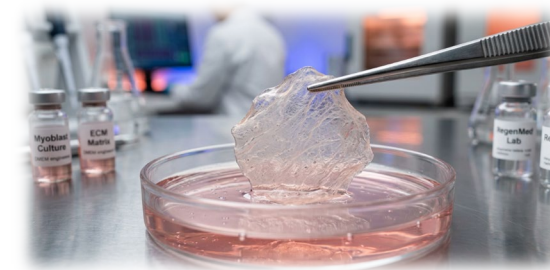
#### 「検査・品質保証」の知見で、再生医療に貢献

### POINT

#### ヘルスケア領域における事業ポートフォリオの拡充

### POINT

#### 強みを生かし、再生医療の産業化へ貢献





空港・航空分野

防災・防衛分野

(2026年3月期第3四半期)

単位：百万円



牽引車  
(トラクター)



防除氷車  
(デアイサー)



コンテナローダー



特殊救護車  
(スーパーアンビュランス)



拠点機能形成車



パッセンジャーステップ車



グリコール回収車



空港用除雪車



パッセンジャーステップ



キャビンサービスカー



空港用凍結防止剤散布車



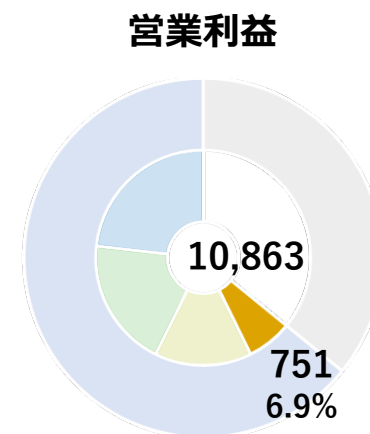
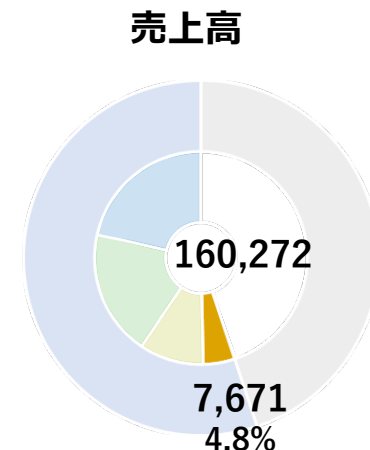
摩擦係数測定車



指揮系統車 (コマンドカー)



防・除氷用器材



# 持続可能な日本の空港を支えるCSと技術



## CS (保守点検・修理・部品)



部品供給



オーバーホール



技術・操作  
トレーニング



組立

納入累計台数：2000台+α

### 【主な器材】

- ・トラクター ・エアスターター ・GPU
- ・デアイサー ・スノーパー除雪機
- ・ARFF 空港化学消防車 ・摩擦係数測定車
- ・ハイリフトローダー ・パッセンジャーステップ
- ・三輪清掃車 ・拡幅車 など



## GSE電動化への対応

### ■環境負荷の低減

- ・排ガスと騒音をなくし、地球と地域に貢献

### ■運用コストの削減

- ・燃料費・整備費を抑え、経営の安定化を図る

### ■作業環境の改善

- ・従業員がより安全・快適に働ける職場を実現

### ■環境時代に対応し、

持続可能な社会を実現



GSE : Ground Support Equipment 地上支援機材

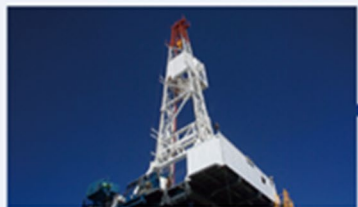
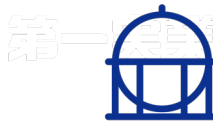
出展

国土交通省

国土数値情報

空港データ

令和2年度版



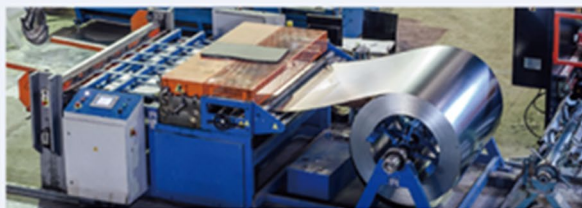
エネルギー資源業界



製油所



石油化学・化学工場



金属類(鉄・アルミ・レアメタル)



発電所



製紙

燃料(石炭・天然ガス)

森林/植林

<国内初>ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験



つばめBHB(株)製  
低温・低圧オンサイト型アンモニア合成設備

田原バイオマス発電所

バイオマス発電の特長  
動植物由来の燃料を用い、  
自然条件に左右されず安定発電

プロジェクト概要  
出力5万kWのバイオマス発電所(コンソーシアム参画)  
2025年4月に営業運転開始、20年間のアフターサービス提供

当社の役割  
発電プラントの建設工事を担当、田原バイオマス発電所合同会社へ出資





家電/住宅設備/食品包装/医療用機器等の製造分野において、生産性向上のため多種多様なお客様のニーズを具現化



樹脂成形機



家電



住宅設備



産業資材



食品容器  
部品トレイ



医療



建設機械/農業機械



真空成形機



塗装システム



組立・自動化・省力化設備

## ■ アグリ：イチゴ培養苗

### 当社ベリーズファームで生産するイチゴ苗の特徴

- ・最先端の液体培養システムで、メリクロン苗の大量増殖が可能
- ・閉鎖型植物工場の病害虫対策を徹底しクリーンな環境で生産
- ・季節を問わず一年中イチゴ苗を供給



イチゴ生産者を悩ます育苗の手間と苦勞を大幅に削減

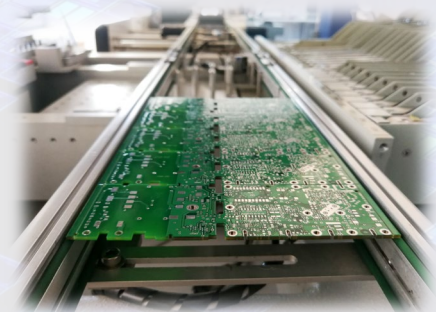


最先端技術と経験でモノづくりプロセスの改革をもたらすソリューション

表面実装 (SMT)

電子部品実装業界で40年以上の実績  
高精度かつ高性能なSMTシステム  
の取り扱い

- 電子部品実装関連システム
- 基板外観検査装置
- 各種搬送装置



「LOGITO」

工場や倉庫内における物流工程の  
自動化を図るソリューションサービス

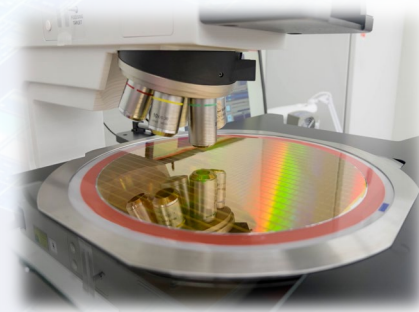
- 材料管理システム
- 自動倉庫
- 自律走行搬送ロボット  
(AMR)



半導体・電子部品

半導体・電子部品の前工程および後工程、  
先端パッケージ分野において各種装置の  
取り扱い

- FOUF/FOSB梱包装置
- 常温ウェハー接合装置
- プラズマクリーナー装置



組立ライン・自動機

生産現場の効率化と品質向上を達成  
最適な自動化設備・システムを提案

- 基板実装後の各種組立工程や  
お客様のニーズに合わせた  
組立・自動化の設備を  
カスタマイズして提供



# 日本政府の重点17領域中12領域をカバー



## AI・半導体

生成AI・ロボット開発加速、  
国産半導体サプライチェーン強化



## 造船

造船再生ロードマップで生産能力  
拡大、船舶部品を重要物資指定



株式会社第一メカテック

## 合成生物学・バイオ

バイオ素材・再生医療設備投資、  
人材育成支援



## 航空・宇宙

次期航空機・衛星コンステレーション  
整備、サプライチェーン強靱化



## フードテック

スマート農業・植物工場投資、  
代替タンパク開発



## 資源・GX エネルギー安全保障

次世代炉・再エネ・  
レアアース開発実証



## 防災・国土強靱化

インフラ更新・  
災害リスク評価投資



## 創薬・先端医療

新薬創出・再生医療・  
ゲノム医療支援



## マテリアル（重要鉱物）

レアメタル備蓄・  
リサイクルサプライチェーン強化



## 防衛産業

防衛費GDP2%前倒し、  
デュアルユース技術育成



## 情報通信

オール光ネットワーク・  
データセンター分散



## 海洋

海洋資源開発・無人探査機実証



その他：量子、コンテンツ（アニメ・ゲーム）、デジタル・サイバーセキュリティ、フュージョンエネルギー、港湾ロジスティクス

# 当社の取り組み

## AI 半導体



産業機械

ロボット（自動化）・半導体材料



エレクトロニクス

電子部品実装機、半導体関連装置、LOGITO

## 資源・GX

エネルギー安全保障



プラント・エネルギー

水素・アンモニア、バイオマス発電、CCS、次世代地熱、DCリンク



エネルギーソリューションズ

蓄電池、ペロブスカイト太陽電池



自動車

水素（アルミ溶解炉）、ペロブスカイト太陽電池

## 情報通信



プラント・エネルギー

冷却システム、化学・粉体、蓄電池



エネルギーソリューションズ

蓄電池



産業機械

水冷・発電・給電ソリューション、成形機（コンデンサフィルムなど）



エレクトロニクス

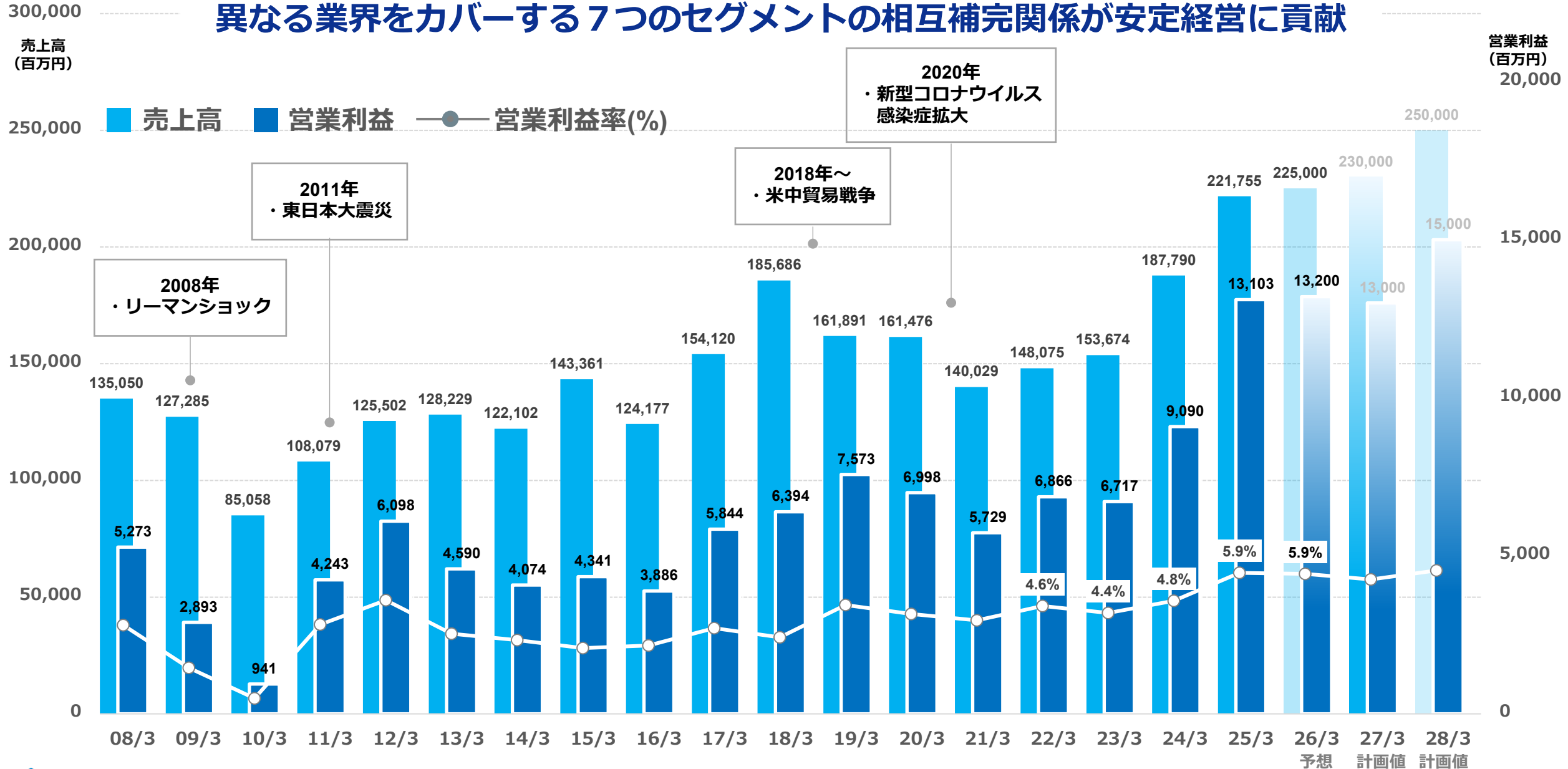
電子部品実装機、半導体関連装置、LOGITO

# 03 成長戦略

---

# 連結業績の推移

異なる業界をカバーする7つのセグメントの相互補完関係が安定経営に貢献



# 成長戦略と中期経営計画

## 成長戦略

### V2030

- ・積極的な投資
- ・PL+BS経営
- ・マルチステークホルダーを意識した経営
- ・モノ売りから「モノxコト売り」へ
- ・グローバルの成長を取り込む
- ・DX推進

売上高

**3,000**億円

営業利益

**180**億円

ROE

**10%以上**

\* 2031年3月期 目標値

MT2030

飛躍

売上高

**2,500**億円

営業利益

**150**億円

\* 2028年3月期 (3年目計画値)

MT2027

成長

売上高

**2,218**億円

営業利益

**131**億円

\* 2025年3月期 (実績)

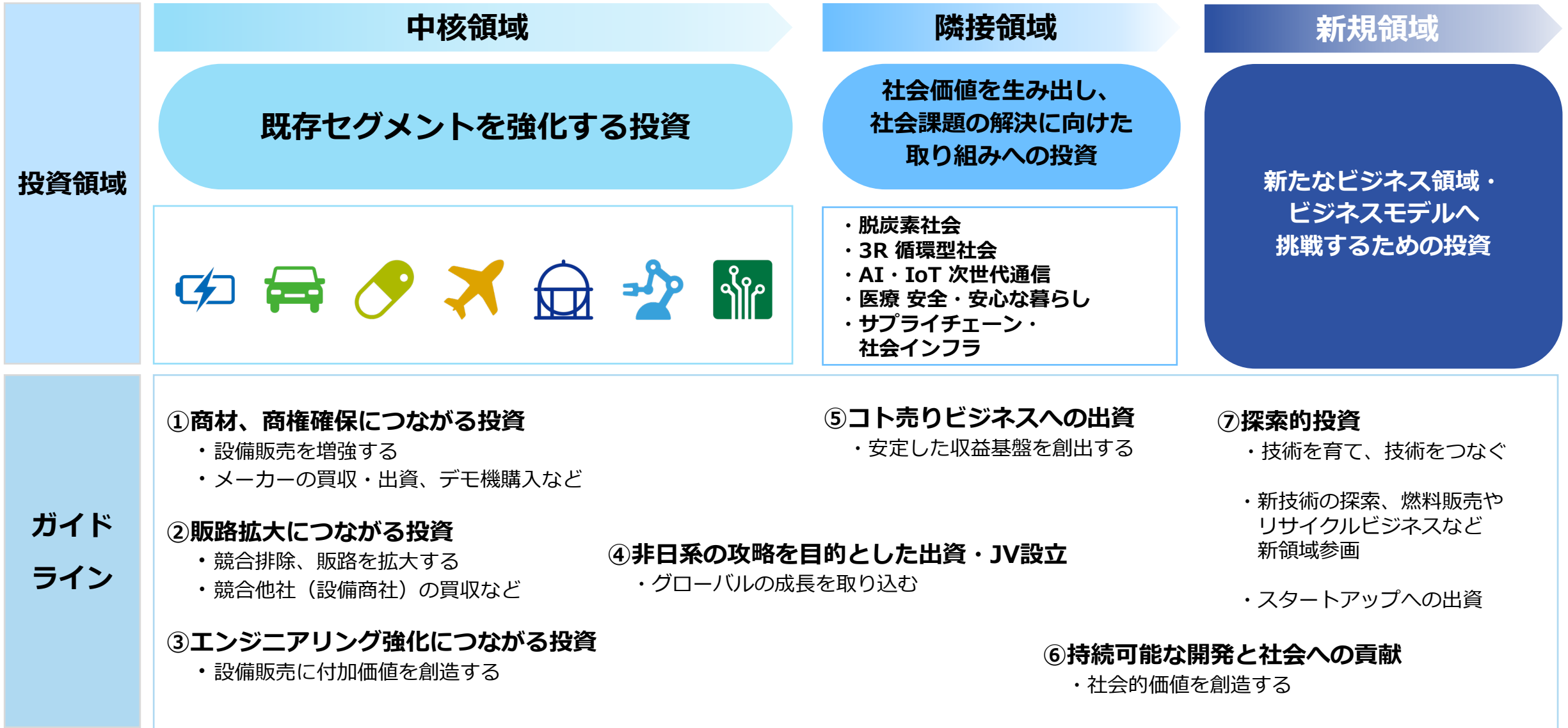
MT2024

創造

目指す姿 **次世代型エンジニアリング商社**

# 事業投資ガイドライン

7つのセグメントを強化する「中核領域」、社会課題の解決に向けた「隣接領域」、新たなビジネスに挑戦するための「新規領域」で展開します



# 04 サステナビリティ

---

# 環境負荷低減に向けた取り組み

2013

- 3月 太陽光発電事業開始
- 4月 バイナリー発電装置取扱開始



中・大型バイナリー発電システム

2014

- 3月 第一実業飯田太陽光発電所



第一実業飯田太陽光発電所

2019

- 8月 環境省・GEC(地球環境センター)「二国間クレジット制度・設備補助事業」初採択

2021

- 6月 つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結  
オンサイト型アンモニア合成システムの実用化  
低環境負荷アンモニア技術の普及促進
- 12月 マテリアリティ (重要課題) の特定



小型アンモニア製造設備

2022

- 3月 田原バイオマス発電所合同会社への出資
- 4月 サステナビリティ推進委員会を設置
- 8月 TCFD提言への賛同



田原バイオマス発電所 (2025年4月営業開始)



- アグロルーデンス社と  
戦略的パートナーシップを締結  
\*米由来の次世代タンパク源開発



アグロルーデンスの  
マイコプロテインで作ったハンバーグ

2023

- 3月 サステナビリティ推進部発足
- 8月 DJ-WAVEエンジニアリングをグループに参入
- 12月 TCFDレポート発行



2025

- 4月 マテリアリティ (重要課題) の見直し
- 7月 TCFDレポート第二版発行  
タイでの廃タイヤ事業へ出資
- 12月 CDP2025「気候変動」分野「B」スコア獲得



# 人的資本の育成と多様性の推進

女性活躍から全社員の活躍を目指す

U&I Project 



- ・ 女性活躍推進宣言の制定
- ・ 女性活躍に焦点を当てた座談会の実施
- ・ 管理職向け女性活躍の必要性に関するセミナーの開催
- ・ 全社員の働き方に関するアンケートの実施

パラアスリート支援を通じた  
多様性社会と共生社会への意識醸成

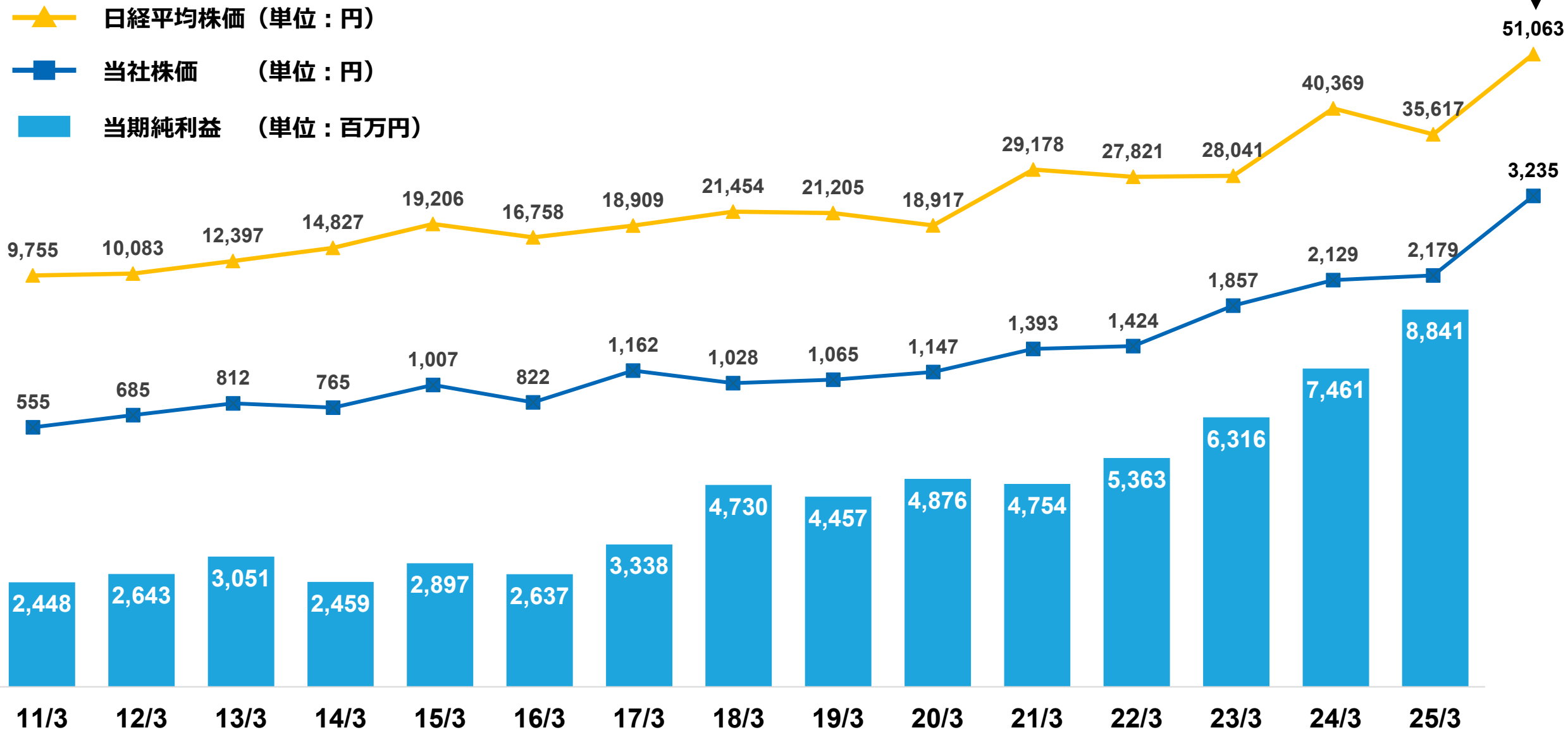


- ・ 多様な人材が個々の強みを発揮し挑戦できる環境づくり
- ・ 社内コミュニケーションの活性化
- ・ 「令和7年度東京都スポーツ推進企業認定制度」に認定
- ・ 東京都福祉局による  
「共生社会の理念に賛同する企業（第2回）」に認定

# 05 株価・株主還元

---

# 当社株価と日経平均株価の推移



注: 2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の株価は株式分割を反映したものです。

# 2026年3月期 業績予想の修正（上方修正）

単位：百万円

## 売上高

## 営業利益

## 経常利益

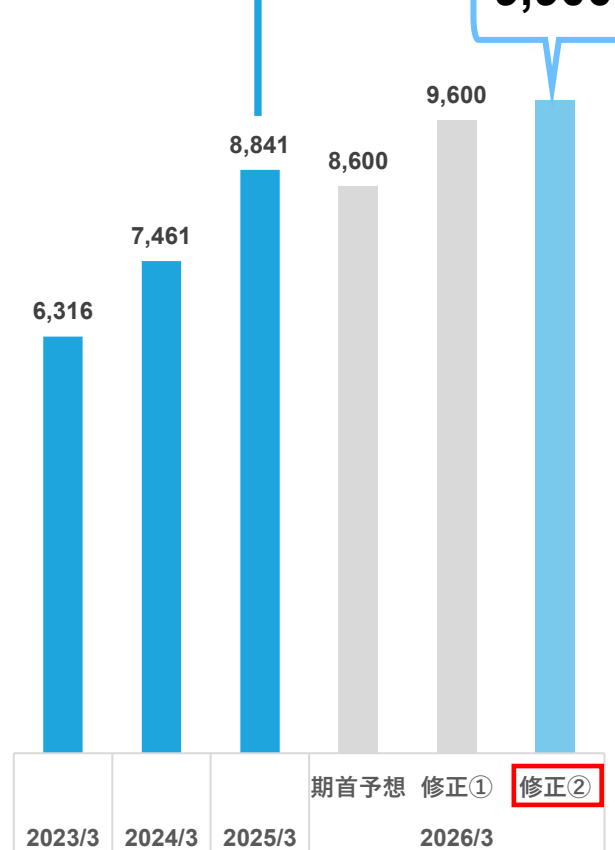
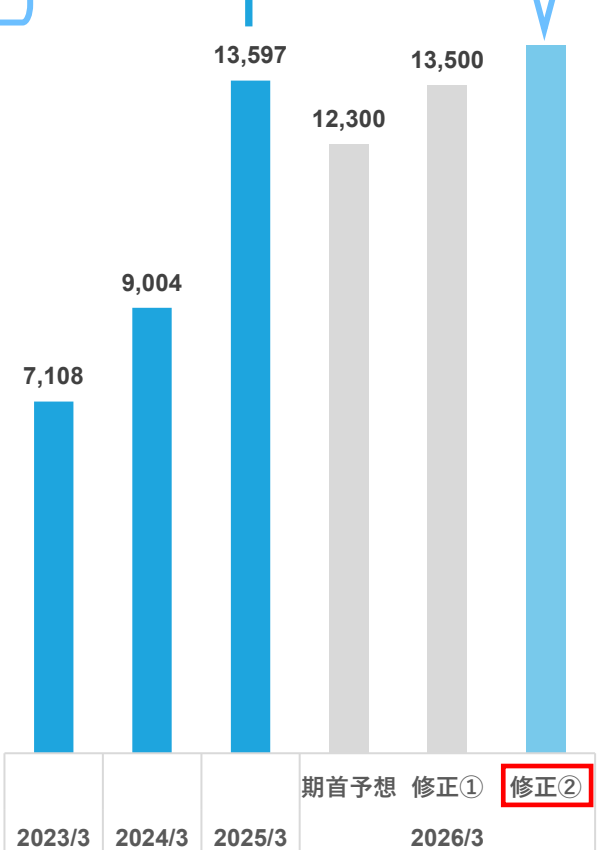
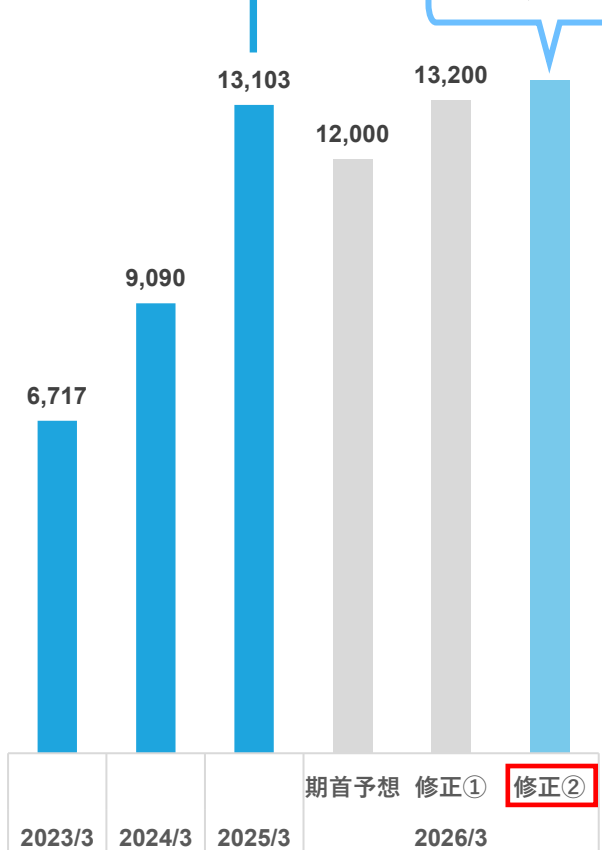
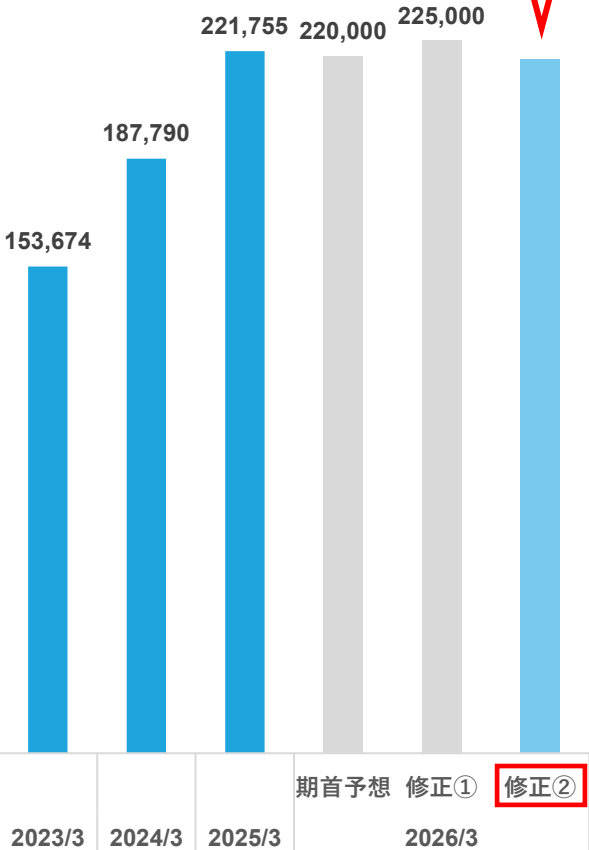
## 当期純利益

前期比  $\Delta$ 1.2%  
**219,000**

前期比 +3.8%  
**13,600**

前期比 +5.2%  
**14,300**

前期比 +12.0%  
**9,900**



← MT2024 →

← MT2024 →

← MT2024 →

← MT2024 →

# 配当金・配当性向

## 配当方針

一株当たり年間配当金を

〔 連結配当性向 **40%** 〕

または

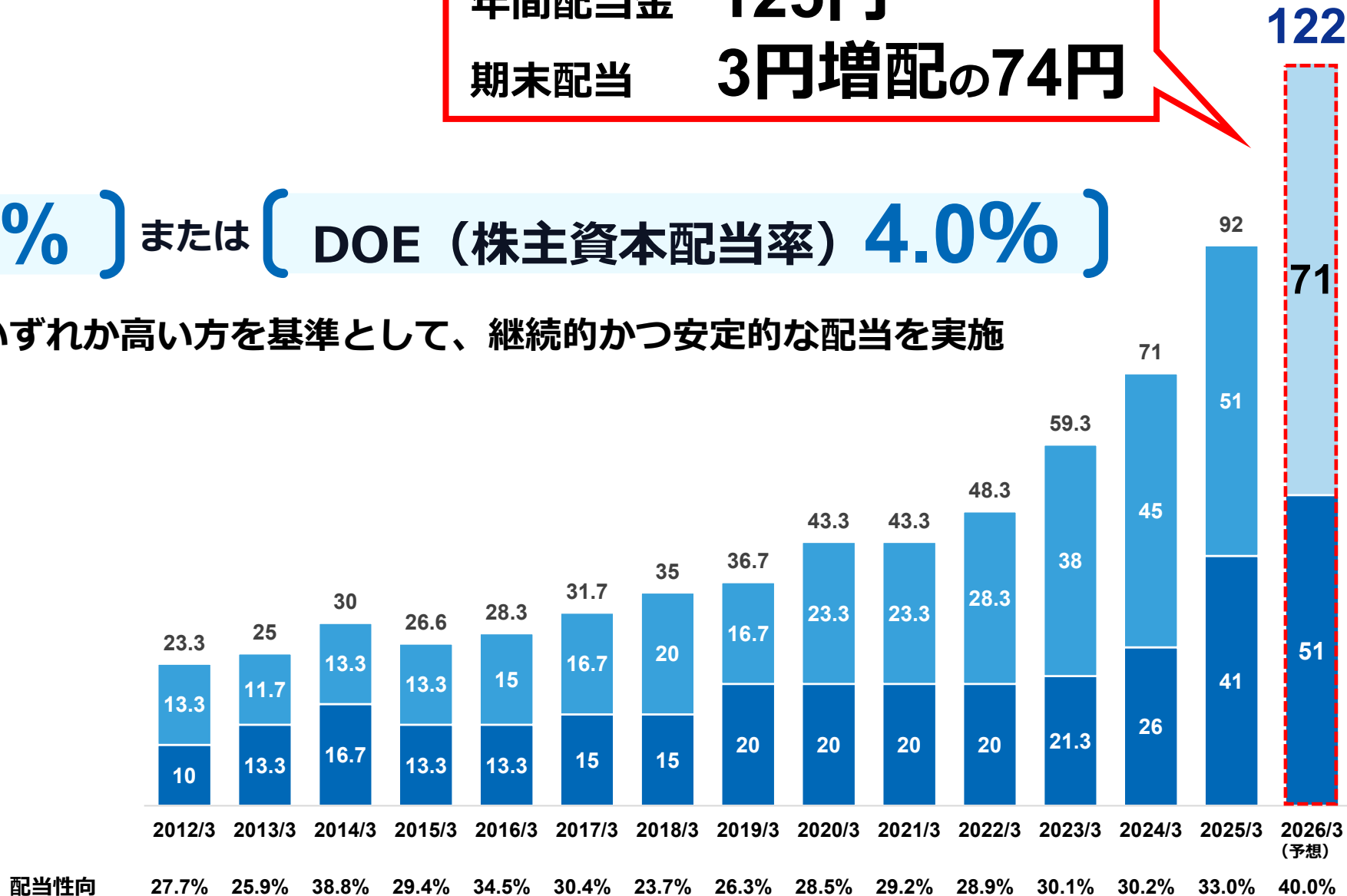
〔 DOE（株主資本配当率）**4.0%** 〕

の各基準で算出した金額のいずれか高い方を基準として、継続的かつ安定的な配当を実施

年間配当金 **125円**

期末配当 **3円増配の74円**

■ 期末配当（円）  
■ 中間配当（円）



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の年間配当金は株式分割考慮後の数値を記載しております。

特定の資本グループに属さない **独立系総合機械商社**

**現場力**

モノづくり現場に  
精通した営業が  
最適設備を提案



**技術力**

多様な知見と経験で  
複合的なエンジニア  
リング機能を提供



**国際物流機能**

物流専門部署による  
国際物流の効率化と  
高度なリスク管理



**グローバルネットワーク**

18カ国36拠点の  
海外ネットワークで  
お客様をサポート



**進化し続ける「次世代型エンジニアリング商社」**

世界のモノづくりに、創造の翼を。



# WEBサイトのご案内

## 第一実業WEBサイト

2025年7月18日にWEBサイトを全面リニューアルいたしました。当社への理解の促進を目的として「DJK Value」を新設し、当社の企業競争力を基軸としたコンテンツを掲載しています。事業内容やサステナビリティ、株主・投資家情報などについても、より充実した内容といたしました。是非、ご覧ください。



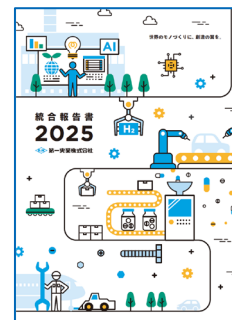
<https://www.djk.co.jp/>



## IR資料のご紹介

### 01 統合報告書

<https://www.djk.co.jp/ir/library/report/>



統合報告書2025では、  
当社の財務・非財務情報を総合的に  
ご確認いただけます。



### 02 決算関連資料

<https://contents.xj-storage.jp/objects/AS03440/4429c2cb/ef1d/4ece/9f9e/5c15956d40b7/ir.zip>

売上高 (Sales Revenue)		売上高 (Sales Revenue)		売上高 (Sales Revenue)	
2024	2023	2024	2023	2024	2023
152,100	154,700	152,100	154,700	152,100	154,700
14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
137,900	140,500	137,900	140,500	137,900	140,500
137,900	140,500	137,900	140,500	137,900	140,500
137,900	140,500	137,900	140,500	137,900	140,500
137,900	140,500	137,900	140,500	137,900	140,500

決算説明資料・ファクトシートなどの  
最新のIR資料をダウンロードいただけます。



### 03 個人投資家の皆様へ

<https://www.djk.co.jp/ir/individual/>

個人投資家様へのコンテンツをご用意しております。

## 参考資料

- 2026年3月期 第3四半期 決算概要
- 連結財政状態の推移
- 連結業績の推移
- 中期経営計画「MT2027」セグメント別計画値
- マテリアリティ

# 2026年3月期 第3四半期 決算概要

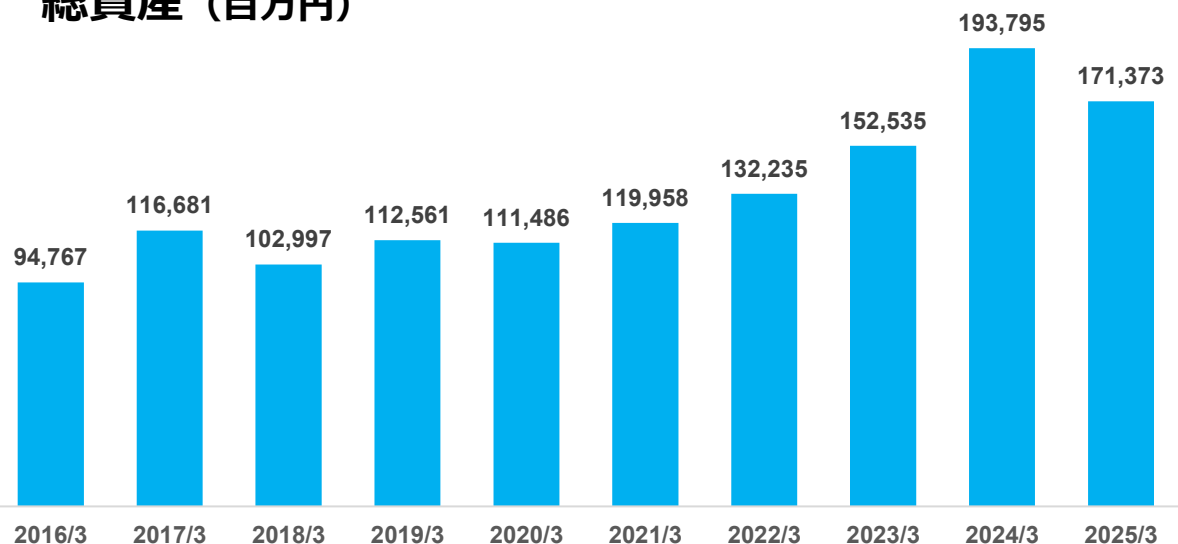
単位：百万円

## 売上高は横ばい、各段階利益は過去最高

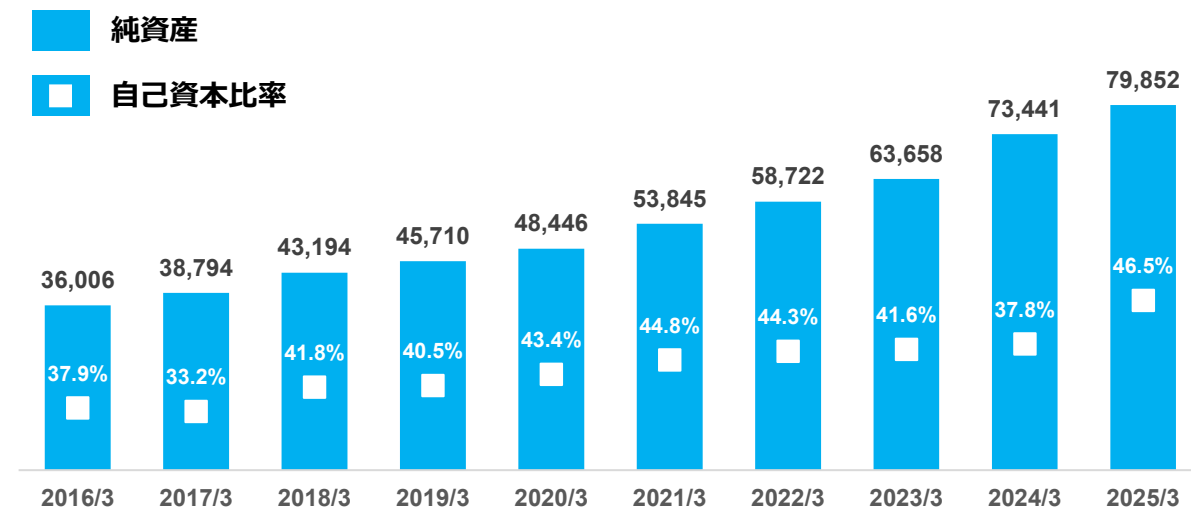
	2025/3 (3Q)	2026/3 (3Q)				
	実績	実績	前年同期比	期首予想	期中修正	進捗
受注高	155,855	139,131	▲ 10.7%	230,000	-	60.5%
売上高	160,776	160,272	▲ 0.3%	220,000	225,000	71.2%
営業利益	9,959	10,863	+ 9.1%	12,000	13,200	82.3%
経常利益	10,223	11,579	+ 13.3%	12,300	13,500	85.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,256	8,323	+ 14.7%	8,600	9,600	86.7%

# 連結財政状態の推移

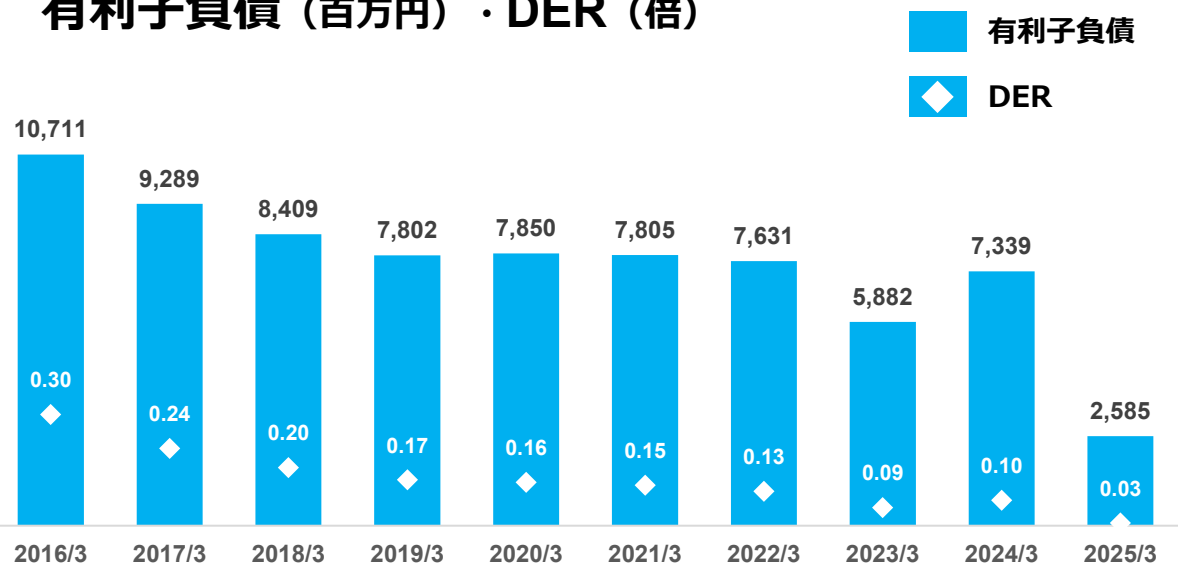
## 総資産 (百万円)



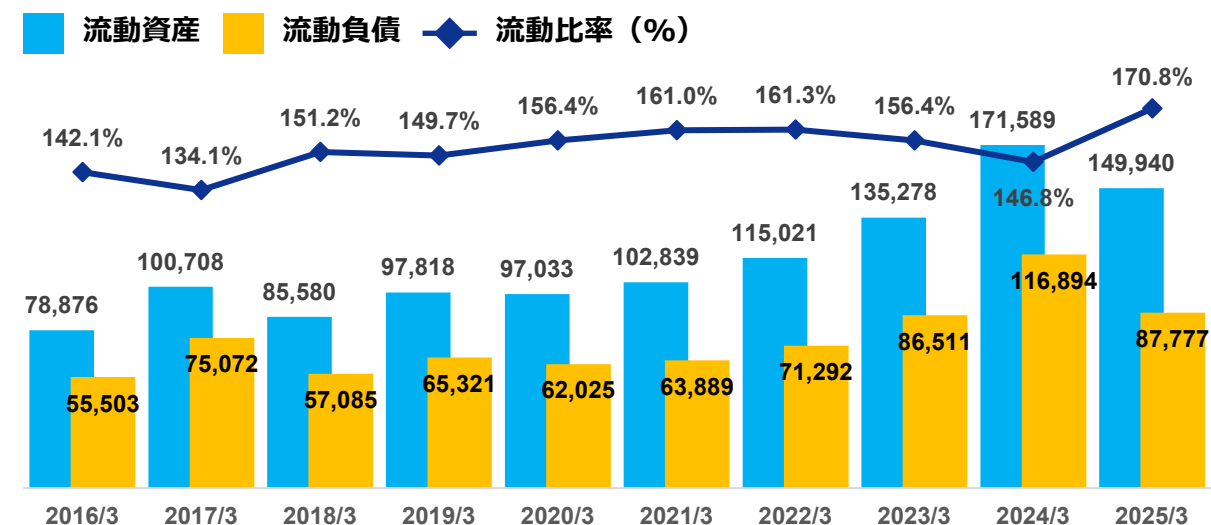
## 純資産 (百万円) ・ 自己資本比率 (%)



## 有利子負債 (百万円) ・ DER (倍)

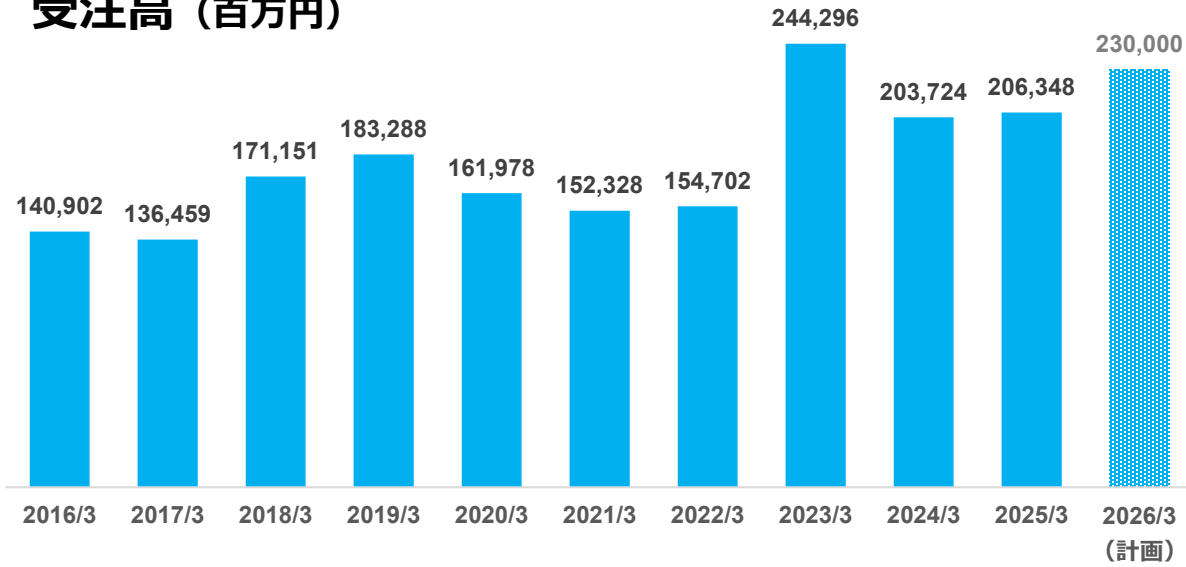


## 流動資産・負債 (百万円) / 流動比率 (%)

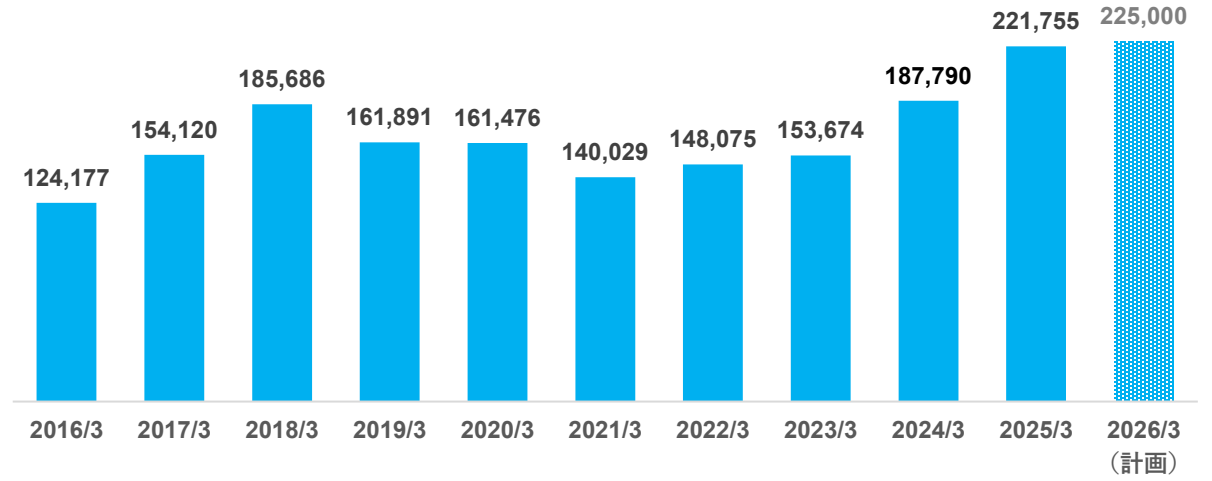


# 連結業績の推移

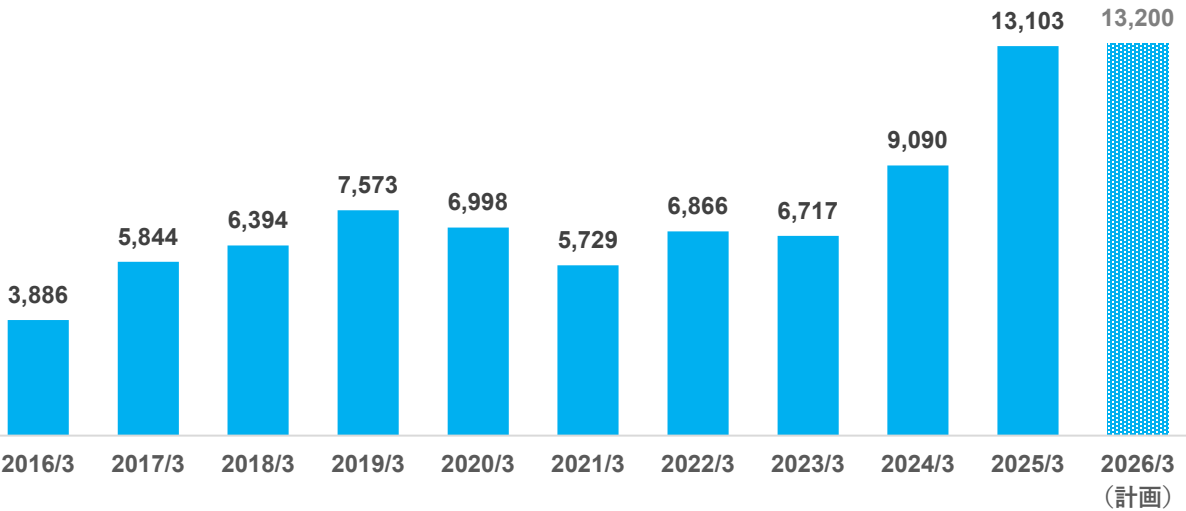
## 受注高 (百万円)



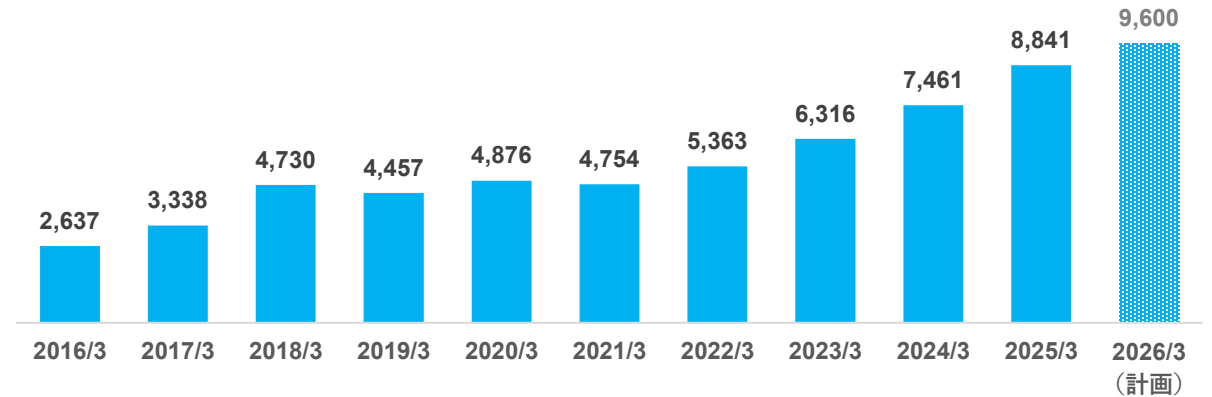
## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



# 中期経営計画「MT2027」セグメント別計画値

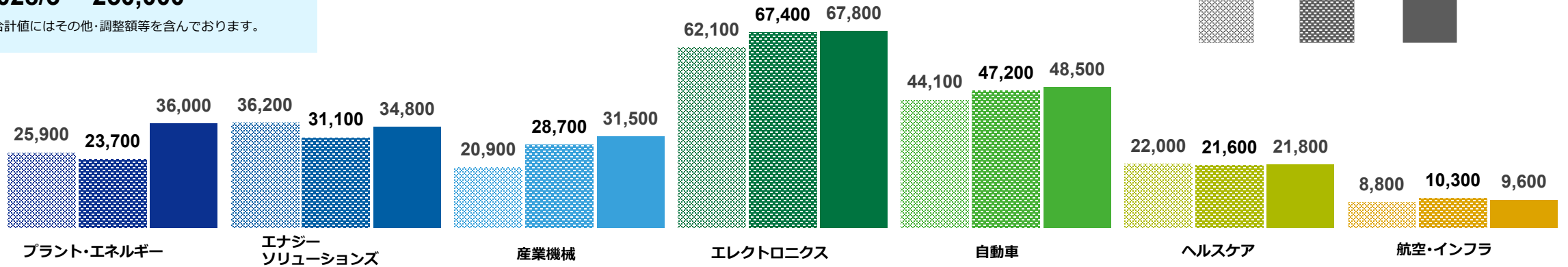
## 連結売上高合計（単位：百万円）

2026/3	220,000
2027/3	230,000
2028/3	250,000

（注）合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

## 売上高

単位：百万円



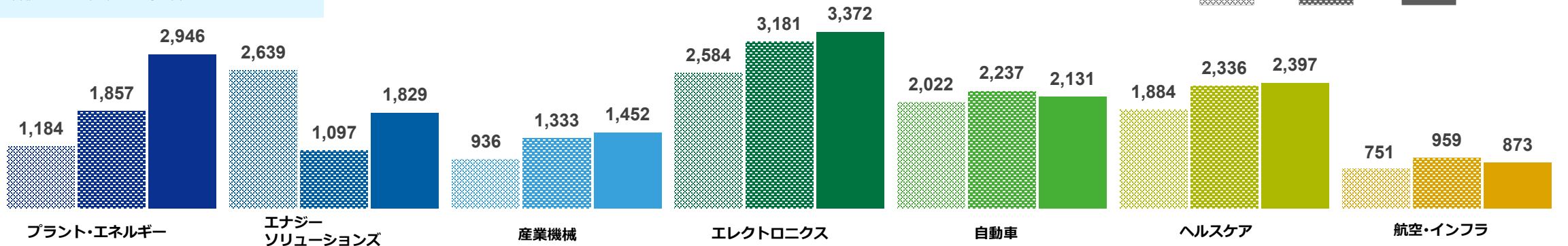
## 連結営業利益合計（単位：百万円）

2026/3	12,000
2027/3	13,000
2028/3	15,000

（注）合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

## 営業利益

単位：百万円



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2026

01

## ものづくり現場における新たな価値の創造

徹底した現場主義により顧客ニーズを発掘し、社会課題の解決につながる新たな価値を提供している。

02

## エンジニアリング機能強化によるソリューションの高付加価値化

当社のミッションである、人と技術をつなぐインテグレーション機能を発展させ、ものづくりを中心としたお客様の現場で、圧倒的な存在価値が認められている。

03

## 働く環境の整備と多様な人材の確保・育成

誰もが安心して働ける環境と、多様性・包摂性を尊重する企業風土の中で育まれた社員一人一人の強みが、組織全体の強みにつながり、創造的進化を続けている。

04

## 気候変動への取り組みとサプライチェーンマネジメント

地球温暖化をはじめとするさまざまな社会課題の解決に向けた取り組みを、サプライチェーン全体との協業により推進している。

05

## ガバナンスの拡充

事業環境の変化に機敏に対応するグループ経営体制を構築し、効率的かつ健全で透明性のある、ゆるぎないガバナンス体制を維持・強化している



**第一実業株式会社**

# 世界のモノづくりに、 創造の翼を。

 **第一実業株式会社**

現場を見る。課題に耳を澄ます。  
最適な機械と、より良い生産の仕組みを考える。  
これらはすべて、わたしたち第一実業のしごとです。

人と人をつなぐ。技術と技術をつなぐ。  
ユーザーのモノづくり企業と、産業機械のメーカーをつなぐ。  
わたしたちは、単なる機械商社ではなく、  
独自のエンジニアリングを通じて、  
日本の、そして世界のモノづくりを支えてきました。

時代が変われば、世の中のニーズも変わります。  
国内と海外ではなく、国境のない事業環境へ。  
実体のある製品から、サービスやソリューションへ。  
顧客課題だけでなく、社会課題も考えるビジネスへ。  
サステナブルな社会の実現にむけて、  
既存技術と新たなテクノロジーの融合が期待されています。

あらゆる製造現場を支え、新たな付加価値を提供する。  
お客様とともに成長し、豊かな社会に貢献する。  
世界のモノづくりに、創造の翼を。  
第一実業はこれからも、  
世界中のお客様とともに未来へと羽ばたきます。

